



中村発



NH

# すこやか通信

2005.12.15 No.3



わっしょい!

## 秋まつり わっしょい!

中村病院に  
おみこしが来た!!

9月18日秋晴れの午後、当院に  
おみこしが門付けされました。  
地域の皆様のなごやかな表情  
を病院スタッフが撮影しました。  
どうぞ、ご覧下さい。

町会長と当院理事長と  
山本豆腐店他の皆さん

当院がこの地に開業したのは、私が五歳の時でした。幼稚園に通っていた頃のお祭りには、鼻に白いおしろいを塗りハッピを着せてもらって山車が来るのを楽しみに待っていたのを覚えています。小学校に進んで、お祭り当日に学校の友達が先生に「お輿を担ぐから早退します」と言うのに同調して、私も早退して家に帰ると父(写真 白衣姿の理事長)から怒られたこともあります。

今年は四年に一度の大祭ということで、9月18日午後、当院の駐車場にお神輿が門付けされました。担ぎ手の皆さんの楽しそうな様子に私達も元気をいただくようです。この近辺では挨拶を交し合うことが人々の習慣で、お互いに隣の人のことを気にしている人に厚い人が多く、当院に来院される患者さまには親子二代、さらには三代に渡る方もいらっしゃいます。とても有り難いことです。ちなみに私が近所で仲が良かったのは、北畠純さん(写真 町会青年部長)と土岐章一さん(町会総務)でした。

地域の人々に溶け込み、老若男女が心から喜べる地域社会に貢献できる病院になっていくことを目指して、誠実に医療に取り組んで行こうと考えています。

(院長 中村 隆)



院長のおさななじみで青年部長の北畠純氏他の皆様

### 【理念】

誠心をもって医業を行い、常に医術の向上をはかり、誠実に実行します。

### 【基本方針】

心温まる医療・看護を目指し、患者さんの健康の回復に努力し、地域の住民の方々に奉仕します。これを誠実に実行することを我々の喜びと致します。

①地域の医院・診療所との連携を密にし、24時間診療体制をとっています。

②生活習慣病の予防及び地元企業に働く人々の健康管理に専門的な見地から寄与します。

## 整形外科における内視鏡手術について

整形外科 佐藤 達夫先生

最近、腹部や胸部の手術で内視鏡を使って、小さな創で手術を行っている事を耳にされる事が多いと思います。整形外科では内視鏡下の手術は20年以上前から一般化されていたものです。近年では内視鏡の精度が上がり、膝関節や肩関節、股関節や足関節、手関節まで、あらゆる関節で内視鏡を使用することが可能となってまいりました。関節以外でも手根管症候群などの神経に対する手術にまで内視鏡が用いられるようになりました。内視鏡下の手術の利点はなんと言っても傷が小さい事です。傷が小さければ回復も早く社会復帰も早くなります。手術によっては日帰りも可能です。手術を内視鏡下で行えれば、患者様にとっては大きなメリットとなるでしょう。

当院では膝関節の内視鏡手術(半月板という軟骨や韌帯の損傷に対する手術など)はもちろんのこと、東京都内ではできる施設が数少ない、肩関節鏡手術を行っています。反復性脱臼から、50肩による拘縮、腱板損傷(筋肉の一部が切れて腕が上がらない)などに対して積極的に内視鏡手術を行っています。十分に習熟し経験も豊富です。麻酔は、当院麻酔専門医が行っています。

肩の具合が悪い方ぜひ御相談ください。手術以外にも、適切な保存療法(リハビリや注射など)もございますので御気楽にいらしてください。

なお、非常勤で柴伸昌先生(火)、原口直樹先生(木)が診療を行っています。



佐藤Dr: 東京医科大学卒  
日本整形外科学会専門医

## ☆HELLO ART☆

「湖で平泳ぎ」 河野優三枝さん

当院の2階のエレベーターホールに絵画が飾られているのをご存知でしょうか。その絵の作者、河野優三枝さんはカナダ在住の画家で、旅を愛し、自分を自然の中において絵画を制作している方です。

2階の絵のタイトルは「breast stroke in the water」。河野さんは森の湖で女性がすいすいと泳いでいるのを岸辺から見て、既視体験(デジャ・ビュ)を感じたそうです。彼女は時々深い水の中を自由に泳ぐ夢を見て、目が覚めると心地よさを感じたのです。言い換えると、湖を泳ぐ女性は自分ではないかと思い、夢が現実に起こり得ると感じたのでしょうか。

私たちはこの絵の中に自由な世界観を感じました。絵の設置にあたり院長の母校の千代田区立小川小学校(現千代田小学校)の有志の協力を得ました。中村病院に来院された際には2階エレベーターホールの絵を見てのびのびとした自由を感じてください。



院長と河野氏、作品の前にて

## 中村病院糖尿病療養指導チーム 活動開始!

当院では、増え続ける糖尿病患者様の治療に各職種が一丸となって取り組むことを目標に「糖尿病療養指導チーム」を結成しました。

メンバーは、薬剤師・看護師・臨床検査技師・理学療法士・管理栄養士で構成され、その中には日本糖尿病療養指導士(CDEJ)も含まれています。

今後、糖尿病教室をはじめ、スタッフの為の勉強会や症例検討会などさまざまな活動を企画しています。

医師の治療をサポートし、一人でも多くの患者様のお役に立てるよう努力していきますので、どうぞご期待を!!



## 前立腺肥大症について

男の人には前立腺という臓器があります。前立腺は膀胱の下にあり、クルミぐらいの大きさで、真ん中を尿道(尿の通り道)が通っています。多くの男性は、50歳を過ぎた頃から前立腺の肥大がみられ、年齢とともに肥大は進んでいきます。前立腺が肥大すると、尿が出にくい、夜間の排尿回数が多い、残尿感がある、尿の切れが悪い、等の症状がでます。これらの症状に心当たりのある60歳以上の男性は、

泌尿器科の受診をお勧めします。前立腺肥大症の治療は大きく分けて、内服治療、手術療法の二つに分けられ、治療法の選択は個々の患者さんの状態によって異なります。排尿について気になる方は、気軽に受診して下さい。ご相談に乗ります。



大野Dr:岡山大学卒  
日本泌尿器科学会専門医

## 「自分たちの事務所は自分たちで守る」を合言葉に

向島消防署 指導調査係 消防指令補 鹿股 文子さん



私は、現在向島消防署の予防課指導調査係で防火管理を担当しています。防火管理という仕事は、管内事業所や学校などの防火管理の責任者であり、消防法で定められた防火管理者に対し、出火防止対策や自衛消防訓練などの指導をすることが主な業務です。

管内の事業所では火災などの災害が起きた時、火災発生と同時に各事業所で組織された自衛消防隊が被害を最小限に止めるために日々から訓練しています。

向島消防署では毎年10月頃に管内の病院や工場、事業所などの自衛消防隊が一同に会して技術を競う「自衛消防訓練審査会」を開催しています。

この審査会は、自衛消防隊の日々の訓練成果を確認し、

併せて自衛消防隊の活動技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に実施しています。本年は、10月12日に東白鬚公園(墨田区堤通2-2)で行い管内24事業所から男性隊20隊、女性隊11隊の計31隊が出場しました。各隊2名編成で計62名が参加しました。中村病院からも男性隊と女性隊に参加していただきました。当日は『火災が発生した時の119番通報や消火器を使っての初期消火・非難誘導などの対応要領が確実に迅速に出来たか』『消防隊に逃げ遅れやけが人・延焼の状況など正確な情報提供ができたかどうか』『士気や規律、チームワーク及び安全性はどうか』など、日々の訓練成果を各チームが發揮しました。各隊とも「自分たちの事務所は自分たちで守る」という災害に立ち向かう強い気迫が感じられ、頼もしく思いました。



## 4F療養型病棟紹介

当院の4階にある療養型病棟を紹介します。

比較的病状の安定された長期療養を必要とされる患者様を積極的に受け入れる専用病棟として、平成11年から地域の皆様に提供ご利用いただいております。現在、医療保険扱いのお部屋27床、介護保険のお部屋4床の合計31床で皆様のお世話をさせていただいております。

この療養病棟の特徴は、なんと言っても利用される患者様に快適に入院生活を送っていただくために、入浴やレクリエーションを毎週実施していることです。季節の良い時期では近所までお散歩したり、商店街で買い物をしたりしています。また、同じ階の食堂にお集まりいただいて、音楽鑑賞やカラオケ、貼り絵、体操などもいたします。食堂に貼ってある絵は患者さまに描いてもらった作品で、飾り付けは皆、病棟スタッフの手作りによるものなんですよ。

季節ごといろいろな行事も盛りだくさんです。4月の桜の季

節にはお花見があります。病棟スタッフにより車イスなどで近くの公園までご案内し、飲み物やお菓子を食べながら桜を満喫します。今年はお蔭様でボカボカ陽気と満開のお花に恵まれました。

また、12月にはご家族のかたも招待して、盛大にクリスマス会を開催します。昨年は、小学生による立笛演奏もあり、なんとマツケンサンバまで登場しました。

万一ご容態が悪くなってしまっても、同じ病院内で最善の医療処置を速やかに受けることができ、安心です。入院を希望される方は、医療相談室までご相談ください。



第3回はスタミナ料理には欠かせないお肉を扱っている山平屋さんです。店主の樋口敏郎さんは「寿司より焼肉!」と断言するほどお肉びいきでした。そんなお肉の魅力、諸々について聞いてきました。

**Q1 創業はいつですか?**

**A1 昭和26年12月です。**

**Q2 おすすめのお肉は?**

**A2 うちで扱っている近江牛、地養豚。鍋の季節は牛ですき焼き、豚でチゲ鍋がお勧め。**

**Q3 鮮度を保つ保存法は?**

**A3 家庭用の冷蔵庫だと開閉が多いので冷凍保存は一ヶ月程度。解凍方法が一番大事で朝から冷蔵庫に移してゆっくり戻すこと。**

急激にレンジで解凍すると氷となって突き出した霜からうま味が逃げるとか。

**Q4 お店を継ぐと決意したきっかけは?**

**A4 うーん…自然と。大学卒業後すぐに神戸に修行に行ったんだ。**

神戸といえば神戸牛。敏郎さんはあの神戸牛に関わっていたんです。

自分より年下が先輩という環境でみんなが嫌がる仕事を敏郎さんはやってま

した。大きな鍋での佃煮作り。焦げないように暑い中でずっと鍋をかき回していました。

「でもすごくおいしくて自分が作ったものが店頭にあって嬉しかった。」と。

**Q5 もしあ肉屋さんじゃなかったら?**

**A5 和食の板前さん。なぜなら見た目が男らしくて格好よかったから。(笑)**

**Q6 苦労したことは?**

**A6 やっぱり狂牛病。お客様の数が減って一気に店が暗くなった。ただあの騒ぎの中でも買いに来てくれたお客様には感謝している。**

狂牛病…。知らない人はいない社会問題。お肉を扱っている業界の人はみんな頭を抱えました。敏郎さんもその一人です。

でも、救ってくれたのはお客様の一言でした。

「山平屋さんのお肉なら安心。また来るね。」

その一言で「まだがんばれる!」そう確信した敏郎さん。こうして乗り越えた今もあの時のお客様の言葉が忘れられないそうです。

**Q7 地域の皆さんに一言お願いします。**

**A7 常に安くおいしく安全なお肉を提**



供したい。お客様に足を運んでもらえるからには不評のないよう努力していきます。

敏郎さんは「うちのお肉は地域トップクラス。いやいや日本トップクラス!」とお店で扱っているお肉に対して熱意を感じさせてくれました。

このお話を聞いた後、一緒にお店を回った感想が2つあります。

(1) 従業員の方がみんな笑顔で家族みたいにあったかい。

(2) 今年のすき焼きは山平屋の近江牛に決定!!

**山平屋**  
(八広3-6-3 TEL03-3617-4129)

### よりよい医療の提供を目指して

当院では、患者様により良い医療を提供できるように、日頃から勉強会を行っています。外部の講習会などにも積極的に参加し、その内容を院内でみんなに発表する機会を設けています。内容は、それぞれの職種での技術の向上のため、最新の医療の情報を知るために、新しい薬の勉強会、患者様のために種々の職種の職員がスムーズに連携を取れるよう医療チームとしての勉強会、等々、多岐に亘る内容となっています。また、安全対策、感染対策、褥瘡対策等は委員会を設置し、委員会が中心となって勉強会や職員教育を行っております。これからも、技術の向上と患者様に優しい医療を心がけて行きます。

ご意見ご要望は、4階医療相談室または、1階のご意見箱にお願いいたします。



## 医療法人社団仁寿会 中村病院

**救急・労災指定**

院長 中村 隆

●診療時間●

AM9:00～AM12:00  
PM1:00～PM 5:00  
PM6:00～PM 7:00

●診療科目●

麻神	泌皮脳	肛胃循整外
経	尿	神 環形科
醉	内器	膚經門腸 器外内
内	シヨン	外
科	科	科
科	科	科
科	科	科
科	科	科

当院では「神経内科」と「麻酔科」を平成17年4月より追加致しました。

●休診日●

日曜・祝日(但し、急患は随時受付致します)

〒131-0041墨田区八広2-1-1 TEL (3612) 7131(代)

